

医療現場で自死・自死未遂者に対応するためのセミナー

主催：NPO 法人仙台グリーンケア研究会

～自死を減らす為に医療者が出来る事～

研修概要

当法人では、平成 23 年から医療の現場に従事する人を対象に『自死を減らす為に医療者は何が出来るか』をテーマとしたワークショップを開催しております。

本年度は、泉谷クリニック院長の泉谷閑示先生をお招きし、参加者の皆様から、自死・自死未遂者とのかかわりの中での困り事や感じている事を事前にお寄せ頂き、その困り事やお悩みに答える相談会形式のセミナーを開催いたします。

自死は、医療者が向き合わねばならない問題です。

是非、多くの関係者のご参加をお待ちしております。

ワークショップ

『自死に医療者がどう向き合うかを考えるセミナー』

日時：2017 年 1 月 22 日（日）11 時～17 時

会場：仙台市医師会館 5 階

講師：泉谷閑示先生

対象：精神科医療に従事する方

（医師、看護師、心理士、ケースワーカーなど）

参加費：無料 定員：50 名

締切：1 月 20 日（金）



お問合せ・申込方法：電話、又はメールでお申込みください

Tel:070-5548-2186 Mail:griefoffice@gmail.com

※メールでお申込みする際は、件名に【1/22 自死研修会申し込み】
本文に【氏名・所属・電話番号】を明記の上、送信してください。



上記 QR コードのご利用も可能です ↑ ↑

講師プロフィール

泉谷 閑示 (いずみや かんじ) 先生

泉谷クリニック院長。東北大学医学部卒業。

大学時代に、音楽理論や作曲法の個人教授を受ける。

東京医科歯科大学医学部附属病院、財団法人神経研究所附属
晴和病院等に勤務したのち渡仏、パリ・エコールノルマル音楽
院に留学。同時に、パリ日本人学校教育相談員を務めた。帰国
後、新宿サザンスクエアクリニック院長等を経て、現在、精神
療法を専門とするクリニックを開院。

《著書》

「普通がいい」という病（講談社現代新書）

クスリに頼らなくても「うつ」は治る（ダイヤモンド社）

「私」を生きるための言葉（研究社）

反教育論（講談社現代新書）

こころをひらく対話術（ソフトバンククリエイティブ）



会場案内：仙台市医師会館 5階

〒984-0806 仙台市若林区舟丁 64-12

電 車：地下鉄河原町駅下車 北1出口から徒歩3分

バ ス：舟丁バス停下車

仙台駅方面行きバス停から徒歩1分

長町方面行きバス停から徒歩3分

駐車場：駐車スペースに限られておりますので、

公共交通機関をご利用ください



本講座のお問い合わせ・ご相談・ご質問等は、下記までご連絡ください。

NPO 法人 仙台グリーフケア研究会 事務局

電話：070-5548-2186 メール：griefoffice@gmail.com